



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月27日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	30,090	3.7	2,371	7.0	2,413	5.3	1,761	18.7
28年12月期第2四半期	29,013	△1.4	2,217	△9.9	2,291	△9.9	1,483	△9.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	62 78	—
28年12月期第2四半期	52 43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	98,785	84,692	85.7
28年12月期	98,525	83,556	84.8

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 84,685 百万円 28年12月期 83,551 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
29年12月期	—	24 00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,100	4.8	5,300	38.8	5,400	35.0	3,900	37.3	139 04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2017年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期2Q	28,800,000株	28年12月期	28,800,000株
29年12月期2Q	751,288株	28年12月期	751,125株
29年12月期2Q	28,048,828株	28年12月期2Q	28,299,192株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成28年12月期 第2四半期累計期間	平成29年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	29,013	30,090	1,076	3.7%
営業利益(百万円)	2,217	2,371	154	7.0%
経常利益(百万円)	2,291	2,413	121	5.3%
四半期純利益(百万円)	1,483	1,761	277	18.7%

売上高は、平成28年4月に実施された薬価改定の影響が残るなか、新製品の早期市場浸透及び主力品の市場拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し30,090百万円と前年同期に比べ1,076百万円(3.7%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」及び「レミッチ(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」が市場拡大再算定の影響を受けたものの、「リオナ錠」は市場浸透・拡大に注力したことにより2,840百万円と前年同期に比べ204百万円(7.8%)増加し、「レミッチ」は販売数量の伸長により6,567百万円と前年同期に比べ129百万円(1.9%)の減少にとどまりました。なお、「レミッチ」につきましては、カプセル剤に加え、新たな剤形として口腔内崩壊錠の販売を平成29年6月に開始しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が3,104百万円と前年同期に比べ61百万円(1.9%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は554百万円と前年同期に比べ172百万円(45.0%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が2,796百万円と前年同期に比べ3,431百万円(55.1%)減少しましたが、平成29年1月から販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は3,522百万円となりました。また、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が89百万円と前年同期に比べ1,642百万円(94.8%)減少しましたが、平成28年7月から販売を開始した後継品の「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は2,794百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したことや販売品目の構成が変化したこと等により14,773百万円と前年同期に比べ618百万円(4.4%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により12,944百万円と前年同期に比べ303百万円(2.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は2,371百万円と前年同期に比べ154百万円(7.0%)増加し、経常利益は2,413百万円と前年同期に比べ121百万円(5.3%)増加しました。四半期純利益につきましては、1,761百万円と前年同期に比べ277百万円(18.7%)増加しました。

(2) 財政状態

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、98,785百万円と前事業年度末に比べ260百万円(0.3%)増加しました。これは、現金及び預金が4,796百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,770百万円減少しましたが、有価証券が8,109百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、14,092百万円と前事業年度末に比べ876百万円(5.9%)減少しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が595百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、84,692百万円と前事業年度末に比べ1,136百万円(1.4%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,087百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、39,426百万円と前事業年度末に比べ741百万円(1.9%)増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,393百万円、減価償却費が593百万円、たな卸資産の減少額が347百万円となり、未払金の減少額が476百万円、法人税等の支払額が692百万円となったこと等により2,302百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は1,005百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入が1,100百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が800百万円となりましたが、投資有価証券の取得による支出が1,817百万円、有価証券の取得による支出が403百万円、有形固定資産の取得による支出が312百万円となったこと等により768百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は260百万円の収入)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が673百万円となったことにより792百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は876百万円の支出)

(3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は2,222百万円となりました。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、次のとおりです。

- ・平成28年10月に日本たばこ産業株式会社と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結したJAK阻害剤「JTE-052」の皮膚外用製剤につきまして、成人患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験及び小児患者を対象とした国内第Ⅱ相臨床試験を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2017年12月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成29年2月2日「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成29年12月期 前回予想	平成29年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	平成28年12月期 実績
売上高(百万円)	64,500	63,100	△1,400	△2.2%	60,206
営業利益(百万円)	5,300	5,300	—	—	3,819
経常利益(百万円)	5,400	5,400	—	—	3,999
当期純利益(百万円)	3,900	3,900	—	—	2,839

売上高につきましては、「リオナ錠」の販売状況が計画を下回って推移していること等により、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、売上高は減少するものの、主に経費支出内容の見直しによる販売費及び一般管理費の減少により、前回発表予想を維持する見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,393	17,596
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	7,091	4,321
受取手形及び売掛金	26,560	26,537
有価証券	11,102	19,212
商品及び製品	6,330	6,196
仕掛品	603	646
原材料及び貯蔵品	3,673	3,416
その他	2,368	2,501
流動資産合計	80,123	80,428
固定資産		
有形固定資産	5,752	5,515
無形固定資産	896	850
投資その他の資産	11,752	11,991
固定資産合計	18,401	18,357
資産合計	98,525	98,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,698	6,849
未払法人税等	767	758
賞与引当金	676	683
役員賞与引当金	47	27
返品調整引当金	2	5
その他	5,119	4,108
流動負債合計	13,310	12,433
固定負債		
退職給付引当金	637	739
その他	1,020	920
固定負債合計	1,658	1,659
負債合計	14,969	14,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	72,866	73,954
自己株式	△1,478	△1,479
株主資本合計	82,993	84,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	558	604
評価・換算差額等合計	558	604
新株予約権	4	7
純資産合計	83,556	84,692
負債純資産合計	98,525	98,785

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	29,013	30,090
売上原価	14,155	14,773
売上総利益	14,858	15,316
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,357	2,389
給料及び手当	3,115	3,112
賞与引当金繰入額	569	577
研究開発費	2,038	2,222
その他	4,559	4,642
販売費及び一般管理費合計	12,640	12,944
営業利益	2,217	2,371
営業外収益		
受取利息	27	15
受取配当金	12	11
為替差益	23	—
その他	11	21
営業外収益合計	74	48
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	4
その他	1	1
営業外費用合計	1	6
経常利益	2,291	2,413
特別損失		
固定資産除却損	15	19
特別損失合計	15	19
税引前四半期純利益	2,275	2,393
法人税等	792	632
四半期純利益	1,483	1,761

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,275	2,393
減価償却費	671	593
受取利息及び受取配当金	△40	△26
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	15	19
売上債権の増減額(△は増加)	2,845	23
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,926	347
仕入債務の増減額(△は減少)	△125	151
未払金の増減額(△は減少)	△467	△476
長期前払費用の増減額(△は増加)	△156	314
その他	△275	△375
小計	2,817	2,966
利息及び配当金の受取額	51	28
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,863	△692
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	2,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△403
有価証券の売却及び償還による収入	600	1,100
有形固定資産の取得による支出	△188	△312
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△151	△134
投資有価証券の取得による支出	—	△1,817
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	800
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	260	△768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△679	△673
リース債務の返済による支出	△196	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	390	741
現金及び現金同等物の期首残高	36,210	38,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,600	39,426

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

2017年12月期 第2四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2017年12月期 第2四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.6
	⑤ 設備投資の状況	P.7
	⑥ 非資金項目	P.7
	⑦ 研究開発の状況	P.7
III	2017年12月期 業績予想	P.8
	① 損益計算書	P.8
	② 製商品別売上高	P.10
	③ 設備投資の状況	P.11
	④ 非資金項目	P.11
	⑤ 配当	P.11
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2017年7月27日



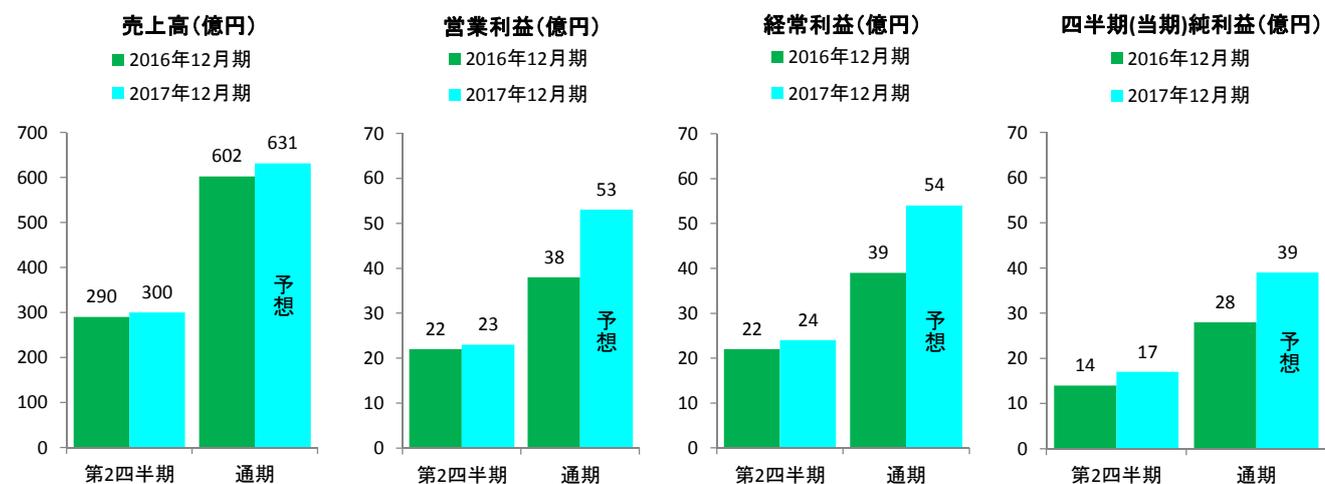
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年2月2日「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2016年12月期 実績	2017年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	29,013	30,090	1,076	3.7	60,206	63,100	47.7
営業利益	2,217	2,371	154	7.0	3,819	5,300	44.7
経常利益	2,291	2,413	121	5.3	3,999	5,400	44.7
四半期(当期)純利益	1,483	1,761	277	18.7	2,839	3,900	45.2
(参考)							
研究開発費	2,038	2,222	184	9.0	4,654	4,670	47.6
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 52.43	62.78	10.35		100.41	139.04	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.8	2.1	0.3		3.4	-	
総資産経常利益率	(%) 2.3	2.4	0.1		4.1	-	
売上高営業利益率	(%) 7.6	7.9	0.3		6.3	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.5	1.8	0.3		2.9	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,525	98,785	260	0.3
純資産	83,556	84,692	1,136	1.4
自己資本比率	(%) 84.8	85.7	0.9	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,978.80	3,019.24	40.44	

Ⅱ 2017年12月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

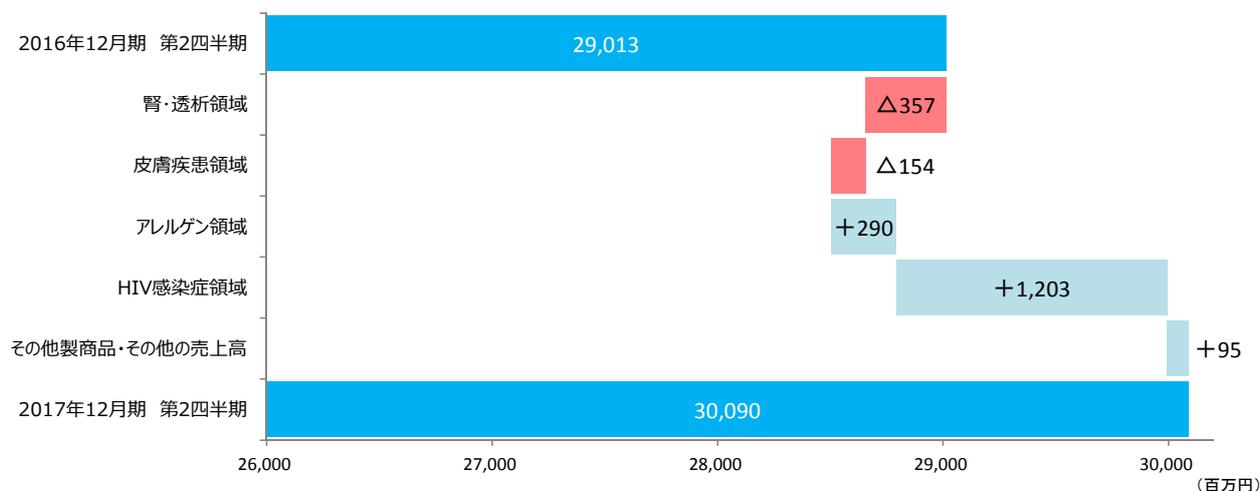
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	29,013	30,090	1,076	3.7
製商品売上高	28,735	29,603	867	3.0
腎・透析領域	12,231	11,874	△357	△2.9
皮膚疾患領域	4,951	4,796	△154	△3.1
アレルギー領域	616	907	290	47.1
HIV感染症領域	8,074	9,277	1,203	14.9
その他	2,861	2,748	△113	△4.0
その他の売上高	277	486	208	75.2
売上原価	14,155	14,773	618	4.4
製商品売上原価	14,124	14,746	622	4.4
その他の原価	30	26	△3	△12.2
売上総利益	14,858	15,316	458	3.1
販売費及び一般管理費	12,640	12,944	303	2.4
販管費(研究開発費除く)	10,602	10,721	119	1.1
研究開発費	2,038	2,222	184	9.0
営業利益	2,217	2,371	154	7.0
営業外収益	74	48	△26	—
営業外費用	1	6	5	—
経常利益	2,291	2,413	121	5.3
特別損失	15	19	4	—
税引前四半期純利益	2,275	2,393	117	5.2
法人税等	792	632	△159	—
四半期純利益	1,483	1,761	277	18.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減
	第2四半期	第2四半期	
	A	B	B-A
売上原価	48.8	49.1	0.3
販売費及び一般管理費	43.6	43.0	△0.6
研究開発費	7.0	7.4	0.4
営業利益	7.6	7.9	0.3
経常利益	7.9	8.0	0.1
四半期純利益	5.1	5.9	0.8

【対前年同期増減要因】

売上高（30,090百万円 対前年同期+1,076百万円）



主な増減要因

製商品売上高 : 販売数量の伸長による増加、薬価改定（市場拡大再算定含む）による減少

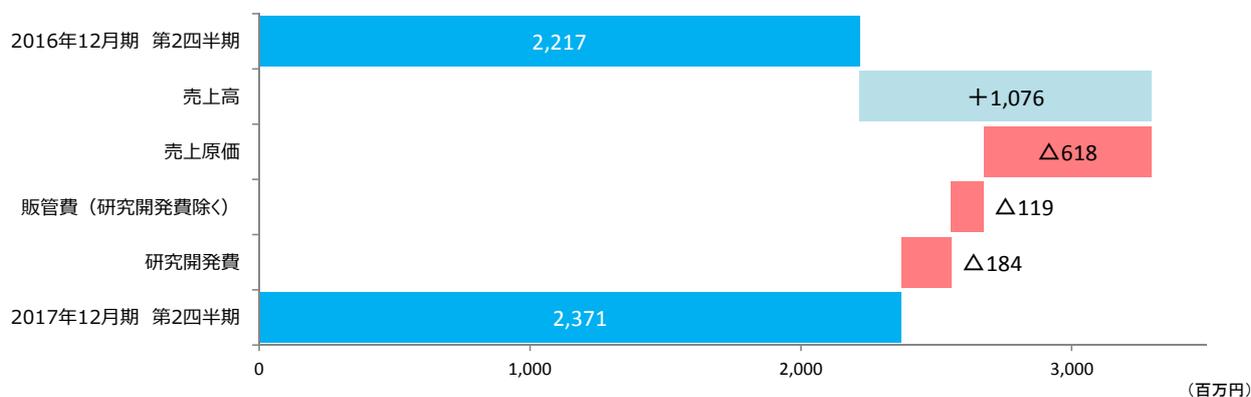
腎・透析領域 : 注射用アサン △248百万円、レミッチ △129百万円
 コリノーム錠 △122百万円、リオナ錠 +204百万円

アレルゲン領域 : シダトレン スギ花粉舌下液 +172百万円

HIV感染症領域 : デシコビ配合錠 +3,522百万円、ゲンボイヤ配合錠 +2,794百万円
 ツルバダ配合錠 △3,431百万円、スタビルド配合錠 △1,642百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（2,371百万円 対前年同期+154百万円）



主な増減要因

売上原価 : 販売数量の伸長による増加、販売品目の構成変化による増加

研究開発費 : 臨床試験費用（JTE-052）の増加、臨床試験費用（TO-203小児鼻炎）の減少

経常利益（2,413百万円 対前年同期+121百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（1,761百万円 対前年同期+277百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	28,735	29,603	867	3.0
レミッチ	6,696	6,567	△129	△1.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	3,522	3,522	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	3,166	3,104	△61	△1.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	2,635	2,840	204	7.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	6,227	2,796	△3,431	△55.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	—	2,794	2,794	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	1,162	1,189	27	2.3
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	1,072	1,010	△62	△5.8
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	1,200	952	△248	△20.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	710	713	2	0.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	583	602	19	3.4
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	382	554	172	45.0
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ユリノーム錠 ※1	626	504	△122	△19.5
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	525	499	△25	△4.8
切迫早産における子宮収縮抑制剤				
子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
スタビルド配合錠	1,731	89	△1,642	△94.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	2,014	1,861	△152	△7.6

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	8,032	7,777	△255	△3.2
自社品比率 (%)	28.0	26.3	△1.7	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第2四半期 B			
流動資産	80,123	80,428	304	0.4	81.4
現金及び預金	22,393	17,596	△4,796		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	7,091	4,321	△2,770		
受取手形及び売掛金	26,560	26,537	△23		
有価証券	11,102	19,212	8,109		
たな卸資産	10,606	10,259	△347		
その他	2,368	2,501	133		
固定資産	18,401	18,357	△44	△0.2	18.6
有形固定資産	5,752	5,515	△236		
無形固定資産	896	850	△46		
投資その他の資産	11,752	11,991	239		
投資有価証券	3,877	4,456	579		
長期前払費用	6,486	6,171	△314		
その他	1,389	1,362	△26		
資産合計	98,525	98,785	260	0.3	100.0
流動負債	13,310	12,433	△877	△6.6	12.6
買掛金	6,698	6,849	151		
未払金	3,178	2,583	△595		
未払法人税等	767	758	△8		
賞与引当金	676	683	7		
その他	1,990	1,558	△432		
固定負債	1,658	1,659	0	0.1	1.7
負債合計	14,969	14,092	△876	△5.9	14.3
株主資本	82,993	84,080	1,087	1.3	85.1
評価・換算差額等	558	604	46	8.3	0.6
新株予約権	4	7	2	57.1	0.0
純資産合計	83,556	84,692	1,136	1.4	85.7
負債純資産合計	98,525	98,785	260	0.3	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 債券及び金銭信託の取得による増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

④ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額
	第2四半期 A	第2四半期 B	
税引前四半期純利益	2,275	2,393	117
減価償却費	671	593	△77
売上債権の増減額 (△は増加)	2,845	23	△2,822
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,926	347	2,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	△125	151	276
未払金の増減額 (△は減少)	△467	△476	△8
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△156	314	470
法人税等の支払額	△1,863	△692	1,171
その他	△248	△353	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	2,302	1,296
有形固定資産の取得による支出	△188	△312	△124
無形固定資産の取得による支出	△151	△134	16
その他	600	△321	△921
投資活動によるキャッシュ・フロー	260	△768	△1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△792	83
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	390	741	350
現金及び現金同等物の期首残高	36,210	38,685	2,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,600	39,426	2,826

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

- 売上債権の増減額 : 前期 売上高の減少による減少
- たな卸資産の増減額 : 前期 商品の増加

⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
設備投資額	347	330	△17	△5.0
有形固定資産	252	223	△28	△11.3
無形固定資産	95	106	11	11.6

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
減価償却費	671	593	△77	△11.5
長期前払費用償却費	500	524	23	4.7

⑦ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				・ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月17日に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイクア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/III終了※			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2017年3月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時(2017年4月27日)からの変更点

・皮膚疾患領域「JTE-052」(アトピー性皮膚炎、小児アトピー性皮膚炎)の追加

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2016年8月 Menlo Therapeutics社が開発を進めているニューロキニン1 (NK-1) 受容体アンタゴニスト (国際一般名: serlopitant) の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約 (日本たばこ産業(株)との共同開発)

Ⅲ 2017年12月期 業績予想

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年2月2日「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

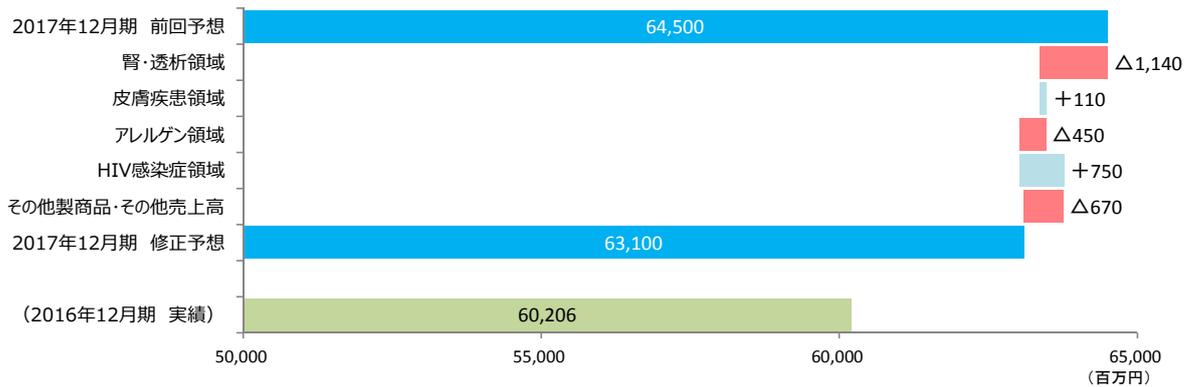
(単位:百万円)	2017年12月期	2017年12月期	修正額	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C		
売上高	64,500	63,100	△1,400	60,206	2,893	4.8
製商品売上高	62,900	62,100	△800	59,620	2,479	4.2
腎・透析領域	26,400	25,260	△1,140	25,141	118	0.5
皮膚疾患領域	9,490	9,600	110	9,811	△211	△2.2
アレルギー領域	2,450	2,000	△450	1,485	514	34.6
HIV感染症領域	18,660	19,410	750	17,225	2,184	12.7
その他	5,900	5,830	△70	5,956	△126	△2.1
その他の売上高	1,600	1,000	△600	586	413	70.6
売上原価	31,700	30,800	△900	30,287	512	1.7
売上総利益	32,800	32,300	△500	29,919	2,380	8.0
販売費及び一般管理費	27,500	27,000	△500	26,099	900	3.4
販管費（研究開発費除く）	22,680	22,330	△350	21,445	884	4.1
研究開発費	4,820	4,670	△150	4,654	15	0.3
営業利益	5,300	5,300	－	3,819	1,480	38.8
経常利益	5,400	5,400	－	3,999	1,400	35.0
当期純利益	3,900	3,900	－	2,839	1,060	37.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2017年12月期	増減	2016年12月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C	
売上原価	49.1	48.8	△0.3	50.3	△1.5
販売費及び一般管理費	42.7	42.8	0.1	43.4	△0.6
研究開発費	7.5	7.4	△0.1	7.7	△0.3
営業利益	8.2	8.4	0.2	6.3	2.1
経常利益	8.4	8.6	0.2	6.6	2.0
当期純利益	6.0	6.2	0.2	4.7	1.5

【2017年12月期 対前回予想増減要因】

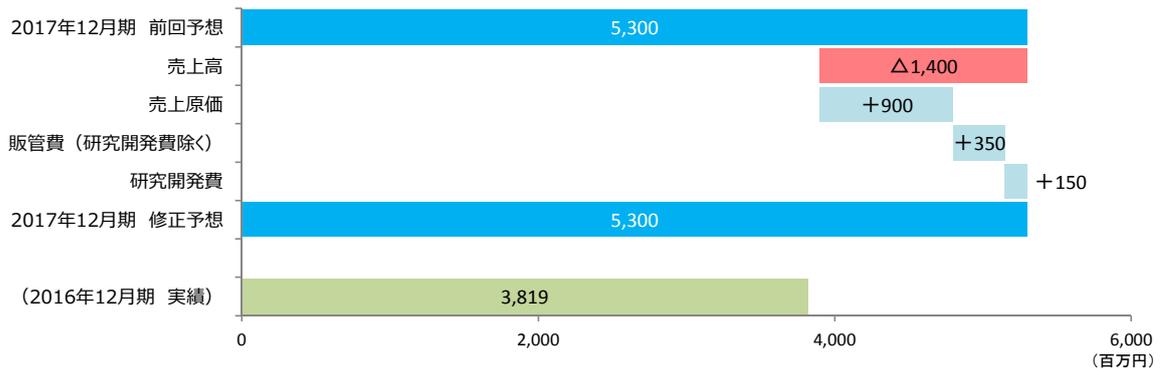
売上高（63,100百万円 対前回予想△1,400百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	△1,310百万円	、レミッチ	+350百万円
HIV感染症領域	：デシコビ配合錠	+2,230百万円	、ゲンボイヤ配合錠	+240百万円
	ツルバダ配合錠	△1,460百万円	、スタビルド配合錠	△260百万円
その他製商品・その他売上高	：手数料収入	△550百万円		
※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（5,300百万円 対前回予想変更なし）



主な増減要因

売上原価	：売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	：経費支出内容の見直し

経常利益（5,400百万円 対前回予想変更なし）

特記事項：特になし

当期純利益（3,900百万円 対前回予想変更なし）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	62,900	62,100	△800	59,620	2,479	4.2
レミッチ	13,600	13,950	350	13,645	304	2.2
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
デシコビ配合錠 ※3	6,750	8,980	2,230	-	8,980	-
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
リオナ錠	7,550	6,240	△1,310	5,634	605	10.7
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]						
アンテベート ※1	6,030	6,200	170	6,277	△77	△1.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゲンボイヤ配合錠 ※2	5,590	5,830	240	1,865	3,964	212.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ツルバダ配合錠	5,740	4,280	△1,460	12,754	△8,474	△66.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ピオスリー	2,550	2,460	△90	2,455	4	0.2
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ケイキサレート ※1	2,150	2,090	△60	2,178	△88	△4.1
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
注射用フサン ※1	2,100	1,980	△120	2,462	△482	△19.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ロコイド ※1	1,360	1,380	20	1,352	27	2.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゼフナート	1,360	1,300	△60	1,275	24	1.9
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,260	1,200	△60	937	262	28.0
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]						
マグセント	1,200	1,150	△50	1,165	△15	△1.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
ユリノーム錠 ※1	1,000	1,000	-	1,219	△219	△18.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
スタリビルド配合錠	400	140	△260	2,371	△2,231	△94.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
その他製商品	4,260	3,920	△340	4,023	△103	△2.6

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	16,440	16,000	△440	16,316	△316	△1.9
自社品比率 (%)	26.1	25.8	△0.3	27.4	△1.6	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	1,192	1,257	65	891	365	41.0
有形固定資産	964	959	△5	644	314	48.8
無形固定資産	228	298	70	246	51	20.6

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,240	1,180	△60	1,339	△159	△11.9
長期前払費用償却費	1,056	1,059	3	1,018	40	3.9

⑤ 配当

	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 ※ (円)	48	48	0	48	0	0.0
配当性向 (%)	34.5	34.5	0.0	47.8	△13.3	-

※ 2017年7月27日開催の取締役会において、2017年12月期の中間配当を1株当たり24円にて行う旨決議しております。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起